

1 本年度の重点教育目標

「優しい心でかかわり合う子」の育成
～みんなの幸せがある学校づくり～

2 本年度の取組の重点

【施策1】学力向上……①「わかる・できる」を実感できる授業改善
②ICTの効果的な活用
【施策2】豊かな心……③特別の教科「道徳」の授業の充実
④いじめ防止（見逃し0ゼロ）の取組の充実
【施策3】健やかな体…⑤食育指導や基本的な生活習慣改善の充実
【施策4】業務改善……⑥教職員における業務改善の一層の推進
【施策5】地域連携……⑦学校運営協議会（CS）を核とした地域と連携した取組の推進

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善方策の評価	主な意見(改善策など)
施策1	①基礎・基本の定着を図る学習指導や授業改善を進めることができたか。	a	諸調査の分析をもとに本校児童の実態を共有し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて今後も研修を充実していく。	A	A	少人数の利点が活かされて学びが深く取り組められていることが、子どもにとって何よりであると思います。
	②一人一台端末を効果的に活用した授業実践を進めることができたか。	b	教師のスキルを高めることで効果的な活用を図り、個別最適な学びと協働的な学びを充実していく。	A	A	
施策2	③日常生活に生きる道徳性を育む道徳教育の充実を図ることができたか。	a	道徳の授業だけでなく教育活動全体を通して、相手を思いやる心や生命を大切にすする心、善悪の判断等の道徳性を身につけることができた。	A	A	校外で見掛ける子どもたちの姿が素晴らしいと思います。自分以外の人へも優しさをもって接しているように見られます。
	④挨拶や声掛け、アンケート調査等を活用し、子どもの心に寄り添う実践を進めることができたか。	a	年3回のアンケート調査や教職員の見取りから日常的に子どもの情報を教職員間で共有し、いじめの未然防止、早期発見に努めた。	A	A	
施策3	⑤栄養教諭等と連携した食育指導やチェックシートを活用し、家庭と連携しながら基本的な生活習慣の改善を図ることができたか。	b	食育指導やチェックシートを活用し、児童の生活リズムの改善を図った。今後は、学校通信などで家庭へ啓発するなど、家庭との連携をさらに図る。	A	A	
施策4	⑥学校における業務改善に向けた取り組みを進めることができたか。	b	授業時数の削減やICTを活用した保護者への連絡などに取り組み、子どもと向き合う時間を確保することができた。今後は、業務の平準化や縮減を図っていききたい。	A	A	
施策5	⑦CSへの理解を深めるとともに、地域や幼保小中の連携をさらに深めることができたか。	a	幼保小中の連携については充実した取組を行うことができた。今後は学校通信等を活用し、CSへの理解をさらに広げていききたい。	A	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。

